

北木島の概要

平成26年11月末 593世帯949人

253



【概要】 笠岡市の南約6kmの笠岡諸島の中央部に位置する。笠岡諸島最大の島。島のほぼ中央の笠岡諸島最高峰のバックリ山を中心に急峻な山々が連なっている。古くから「北木石」で知られる石の島として有名で、大坂城築城の際には大量の石垣石を送り出している。

【面積】 7.3km² 【周囲】 18.3km 【標高】 バックリ山226m 【世帯数】 593世帯

【人口】 949人 【高齢化率】 67.0%

【教育】 金風呂地区に幼稚園・小学校、大浦地区に中学校がそれぞれある。

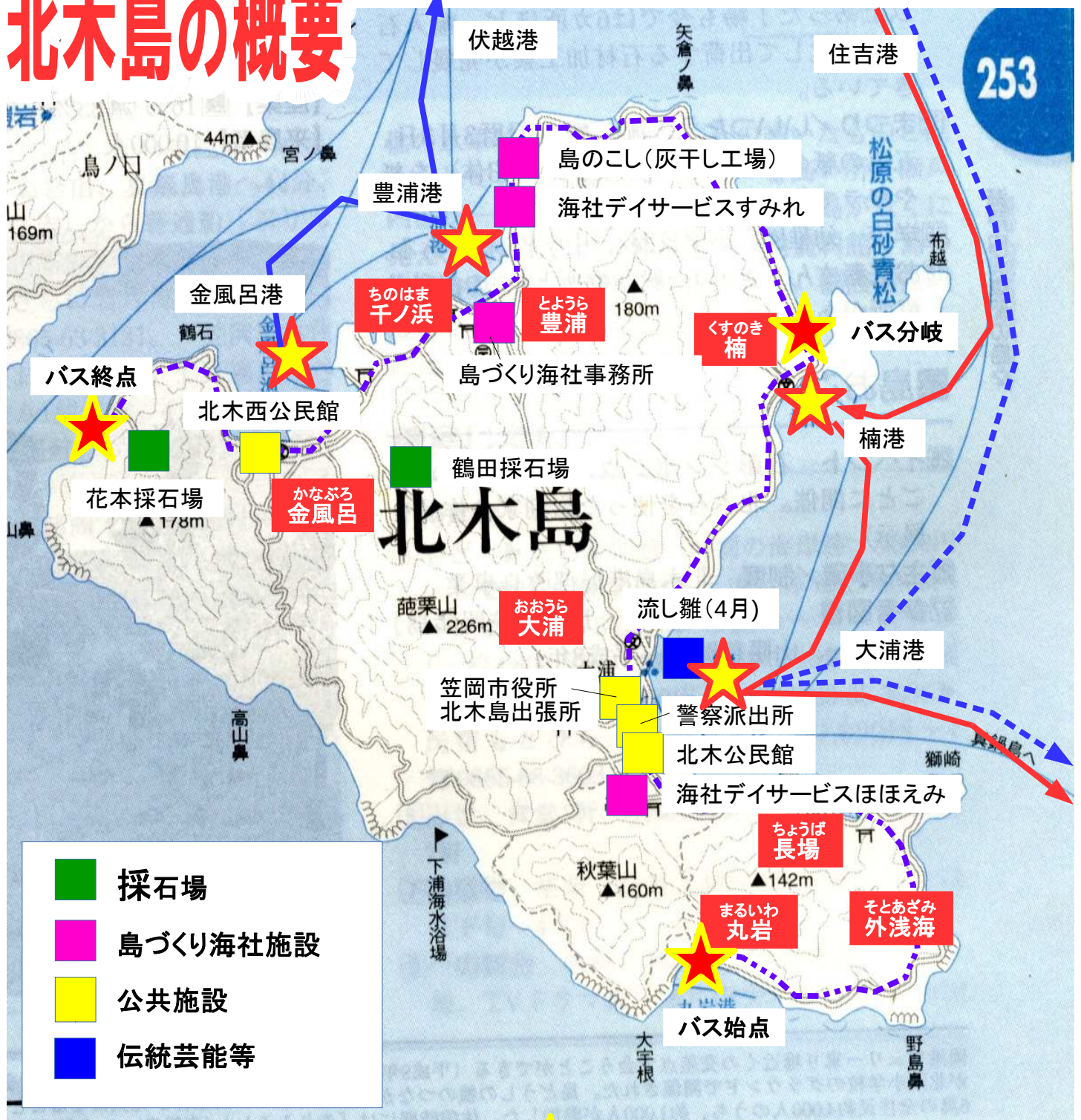
【医療】 大浦地区に笠岡市の診療所（月・金）、豊浦地区に民間診療所（火・木・土）

【産業】 石材採掘の島。最盛期昭和32年ごろには127箇所の採石場があったが、現在はわずか2箇所に。加工場も平成4年の62事業所をピークに現在島には10社程度ある。北木ブランドを再構築して新たな道を模索している。

水産業は金風呂地区を中心に底びき網が主。養殖はカキを1業者が手がける。

【交通】 ①笠岡港（住吉）一楠・大浦方面と②伏越港一豊浦・金風呂方面と2系統がある。①航路は高速船（36分）5便 料金1410円・普通船（55分）3便 料金790円②航路は2業者合計10便（45分～55分）片道540円が就航

北木島の概要



----- 過疎地有償運送経路 ★ 過疎地有償運送始点・分岐・終点

★ 定期船が寄港する港

NPO法人かさおか島づくり海社

平成14年8月に笠岡諸島全体の住民組織が立ち上がり、地域づくりを全島で取り組む。平成18年9月に法人格を取得し、過疎地有償運送事業・介護事業・行政からの指定管理事業とを行うようになる。平成19年に北木島大浦に海社デイサービスほほえみを開設し、白石、北木豊浦、真鍋島と順次島独自のデイサービス事業を展開する。今では、買い物支援事業、観光開発事業、特産品開発(灰干しなど)、移住対策事業など住民の暮らしに直結した取り組みを行政と協働しながら実施している。

北木ノースデザインプロジェクト

平成25年・26年に、それぞれアーティスト2名を2ヶ月間島に住んでいただきながら制作活動を行っていただき、その後に作品展を実施し、見学者を誘致する取り組みを実施。これまで4名のアーティストが参加し、そのうち5割の2名のアーティストがその後島へ移住している。

この事業は伏越港から出ている定期フェリーを利用して、豊浦・金風呂地区を回遊する観光客をターゲットに北木島の主に北側(ノース)に絞って実施している。